（別紙）

りんごの凍霜害防止対策について

農業普及技術課・農産園芸課

○　３月の気温が高く推移したため、りんごの発育が平年より数日早くなる見込みです。
○　凍霜害による被害防止に向けた準備を進めましょう！

１　生育概況

県の**発芽予測**は、平均で４月５日となっており、**平年より２日早いと予測**されています（表１）。今年の**りんごの生育は、平年よりやや早くなる見込み**であるとともに、気象庁の１か月予報によると気温は高くなると予測されており、開花も早まる可能性があります。

表１　ふじの発芽日の予測日と実測日（4月5日時点）

市町村	地　区	発芽日予測	平年発芽日	令和3年発芽日	市町村	地　区	発芽日予測	平年発芽日	令和3年発芽日
岩手町	一方井	4/9	4/12	4/2	陸前高田市	米崎	4/1	4/5	3/25
盛岡市	三ツ割	4/7	4/9	3/30	宮古市	崎山	4/6	4/6	3/30
花巻市	上根子	4/6	4/6	3/27	洋野町	大野	4/6	4/13	4/1
奥州市	前沢稲置	4/3	4/3	3/27	二戸市	下山井	4/10	4/8	3/28
一関市	狐禅寺	4/1	4/3	3/28	県平均（参考）		4/5	4/7	3/28

※発芽日の赤字は予測日、青字は実測日。

２　凍霜害の防止対策

りんごの花器は、開花期に近づくにつれ、低温耐性が下がります。

降霜は、無風・晴天の日で、降雨の１～２日後に危険性が高く、前日夕方 18 時の気温が６℃以下の場合は、更に注意が必要です。

低温・降霜が心配されるときは、各圃場で**可能な限り対策**を取りましょう。

（１）霜溜まりの解消

傾斜地の場合、園地下方の障害物は、霜溜まりを作りやすいので除去しましょう。

（２）燃焼法による防止

降霜は、数日間連続することが多いことから、燃焼法で対応可能な園地では、燃料を十分準備して下さい。燃焼法は一定コスト（30,000 円/10a 程度）がかかるため、昨年被害が多かった圃場では、低温になりやすい場所など地形も考慮して設置しましょう。

（３）防霜ファン、散水氷結法の準備

防霜ファン等を設置している園地では、動作の確認、始動温度（２℃）を確認しましょう。

３　その他

対策方法の詳細については、いわてアグリベンチャーネットでも発信していますので、そちらをご覧ください（【霜害に備えましょう！】果樹類の霜害対策について）。

URL：https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/technical/2004987/2004992.html

※　右の QR コードを読み取るとご覧いただけます。

県では、令和３年 12 月に農業情報等を配信する「いわてアグリベンチャーネットメールサービス」を開設しました。登録方法等については上記ホームページをご覧ください。